# 予定帝王切開術を受けられる方へ

◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。

お名前　　様　　主治医　　受持ちグループ

| 日付 | | 入院前日までに | 入院当日　手術前日 | 手術当日 | | 術後1日目 | 術後2日目 | 術後3日目 | 術後4日目 | 術後5日目 | 術後6日目 | 退院後 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 術前 | 術後 | | | | | | 退院日 | |
| 目標<br>退院基準 | | | ・パスの内容を知っている<br>・必要物品が準備できる | ・パスの内容を知っている<br>・必要物品が準備できる | ・子宮回復過程が正常である（悪露性状）<br>・子宮回復過程が正常である（子宮硬度が良好である）<br>・処置した所の痛みが許容範囲内である<br>・イレウス（腹痛・嘔気・嘔吐）の症状がない<br>・褥瘡（床ずれ）がない<br>・転倒予防行動（転倒しないように注意した行動）が実施できる | ・子宮回復過程が正常である（悪露性状）<br>・子宮回復過程が正常である（子宮硬度が良好である）<br>・処置した所の痛みが許容範囲内である<br>・イレウス（腹痛・嘔気・嘔吐）の症状がない<br>・褥瘡（床ずれ）がない<br>・転倒予防行動（転倒しないように注意した行動）が実施できる<br>・児に話しかけることができる | ・子宮回復過程が正常である（悪露性状）<br>・子宮回復過程が正常である（子宮硬度が良好である）<br>・処置した所の痛みが許容範囲内である<br>・イレウス（腹痛・嘔気・嘔吐）の症状がない<br>・褥瘡（床ずれ）がない<br>・転倒予防行動（転倒しないように注意した行動）が実施できる<br>・児の世話ができる | ・子宮回復過程が正常である（悪露性状）<br>・子宮回復過程が正常である（子宮硬度が良好である）<br>・排便がある<br>・貧血（ふらつき）の症状がない<br>・処置した所の痛みが許容範囲内である<br>・褥瘡（床ずれ）がない<br>・転倒予防行動（転倒しないように注意した行動）が実施できる<br>・児の世話ができる | ・子宮回復過程が正常である（悪露性状）<br>・子宮回復過程が正常である（子宮硬度が良好である）<br>・育児技術を獲得できる<br>・傷口の腫れや熱感がない<br>・体温上昇がない | 子宮回復過程が正常である（悪露性状）<br>・子宮回復過程が正常である（子宮硬度が良好である）<br>・育児技術を獲得できる<br>・傷口の腫れや熱感がない<br>・体温上昇がない | ・育児不安の解決方法を理解できる<br>・育児技術を獲得できる<br>・社会資源の活用方法がいえる | |
| 活動 | 安静度 | 切迫早産の方など、制限がある場合は医師の指示に従ってください。 | 制限はありません。手術の準備や説明がありますので、なるべくお部屋でお過ごし下さい。 | 手術室に入室するまで、お部屋でお待ち下さい。 | ベッド上で安静ですが、手足は動かすことができます。体がつらい場合は看護師に申し出下さい。 | 午前中には看護師が付き添って、歩行します。その後は制限はありません。 | 制限はありませんが、傷の痛みなどがある場合は、無理をしないようにしましょう。<br>お母さんの状態が良ければ母児同室を行います。 | | | | 退院日です。 | 退院後すぐは赤ちゃんの世話と自分の身の回りの世話程度にとどめ、ゆっくりと休息を取るようにしましょう。 |
| 活動 | 排泄 | | 手術室に入室するまでの間は、トイレに歩いて行ってもかまいません。 | | 尿の管が入りますので、トイレに行く必要はありません。 | 歩行確認後、尿の管を抜きます。 | 歩いてトイレに行っていただきます。必要であれば車椅子でトイレまでお連れします。 | | | | | トイレは我慢せずにこまめにいくようにしましょう。 |
| 活動 | 清潔 | ご自宅でシャワー/入浴はできます。 | 手術部位の除毛した後、シャワーを浴びます。 | | | 日中に体を拭き、着替えをします。 | シャワー浴ができます。 | | | | 退院後、許可があるまではシャワーのみです。入浴はできません。 | 1ヵ月健診まではシャワー浴となります。清潔を保つようにしましょう。 |
| 食事 | | 医師の指示に従ってください。 | お食事は夕食までです。<br>経口補水以外の水分は21時までです。 | 経口補水以外は飲んだり食べたりしてはいけません。経口補水の飲み方は麻酔科の指示に従ってください。 | 手術から帰って6時間後から水を飲み始めます。（看護師の指示に従って下さい） | 朝から食事が開始となります。昼までお粥で、夕方から普通食（産褥食）になります。 | 何を食べてもかまいませんが、おっぱいの状況によって甘い物・乳製品などは控えます。 | | | | | おやつはほどほどにしバランスよく食べましょう。 |
| 検査 | | 手術までに心電図・胸部レントゲン検査があります。 | 採血があります。<br>赤ちゃんの心拍音の確認をするモニターをつけます。 | | | 採血があります。 | | 尿検査があります。 | | 採血があります。 | | 1ヵ月健診を必ず受診しましょう。 |
| 処置 | | | 手術部位の除毛をします。 | 6時頃　浣腸を行います。<br>赤ちゃんの心拍音を確認します。<br>病衣に着替え、お渡しした弾性ストッキングを着用してお待ち下さい。 | 足に血栓予防のポンプを巻きます。歩けるようになったら外します。 | 医師の診察があります。 | 背中の痛み止めを抜きます。 | | 赤ちゃんの退院診察があります。 | お母さんの退院診察があります。 | | |
| 注射 | | 医師の指示に従ってください。 | | 2番目以降の手術の方は点滴を入れます。 | 手術後1日目の午後まで点滴を続け、終わったら抜きます。 | | | | | | | |
| 内服薬 | | 医師の指示に従ってください。 | 21時　胃薬を飲みます。 | 吐き気止めと胃薬を飲みます。時間は看護師の指示に従ってください。 | 常用薬がある場合は、主治医の指示に従ってください。 | 痛み止めの処方があります。痛い時、内服して下さい。 | | | | | | 医師の指示に従ってください。 |
| 教育<br>説明<br>その他 | | 陣痛、破水感、多めの出血、胎動の減少などがあったら病院に電話してください。 | 午後に麻酔科の術前外来の予約があります。手術室の看護師が説明に来ます。<br>お腹の痛みや出血、破水感がある場合はすぐにスタッフに伝えて下さい。 | | お母さんと赤ちゃんの状態によりますが、お部屋で赤ちゃんの面会をします。 | お母さんと赤ちゃんの状態によって、授乳ができます。 | お母さんと赤ちゃんの状態により母児同室ができます。適宜赤ちゃんのお風呂の入れ方、退院後の生活のお話しをしていきます。<br>気分の変化などがあればご相談ください。 | | | | | 多量の出血、発熱、腹痛などがある際は<br>病院に連絡してください。 |
| 備考 | | | | | | | | | | 千葉大学医学部附属病院<br>連絡先043-222-7173 | | |

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。

ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。

**千葉大学医学部附属病院　　産科　　2024年6月作成**